

## 平成 28 年度 第 2 回 市長と語ろう！笠間タウントーキング 議事録

開催日：平成 28 年 5 月 24 日（火）午後 7 時～8 時 25 分

場 所：笠間市商工会 友部事務所 2 階会議室

出席者：笠間市商工会青年部 30 名

### 《フリートーク（意見交換）》

○青年部 岩間の交流センターの建設に関しては、地元業者を使ってほしい。

○市長 8 月か 9 月頃に入札の予定です。議会の承認を得て契約となり、1 年ぐらいで完成します。閑古鳥ではしょうがないので、どんどん使っていただきたい、使いやすくしていきたいと考えています。飲食も、販売も出来るようにしていきます。

市では今まで契約に関しては、JV（ジョイントベンチャー（共同企業体））はやらなかったが、友部地区の交流センターでは JV で実施しました。稲田地区の認定こども園など、建築については JV でと考えています。岩間の交流センターはこれから検討します。

下請け業者としては、市では地元業者を使っていたきたいと言っています。でも、元請けの付き合いになってしまう傾向があります。出来るだけ、元請けが決まったら地元業者を使っていたけるよう働きかけします。

○青年部 小学生の子供がいる。今後の学校統廃合はどうなるのか。定員割れすれば進めていくのか。条件は何か。誰が決めるのか。

○市長 理想とする基準があります。小学校は一学年あたり 2 クラス、中学校は 3 クラスだったと思います。この基準に基づいて最終的には教育長と市長が決めます。

佐城小、東小、箱田小、東中などの統廃合は、この基準に沿って進めました。ここについては、保護者の方もこのままではじり貧になってしまうとのことで、全員ではありませんが、概ねご賛同をいただきました。

今後の統廃合は、当面考えていません。しかし、今後 10 年間

が人口の落ち込みが激しく、10年後は何とも言えません。

笠間で少ないのは南小です。1クラス20人程度です。中学校へあがるとき、友部中や私立中に行ってしまいます。ここは少ない人数でも残してもらいたいという要望がありました。

ここは小中一貫校，義務教育学校になります。小中が隣りなのでやりやすい。岩間で統廃合の話はありません。

○青年部           私は燃料屋で各家庭を回っている。高齢者の独り暮らしが多い。高齢者の意見は，主に小原，宍戸だが，お店がないので商品を選んで買い物ができないという。デマンドを使ったらと言うが，使いづらいと言う。理由は，時間的制限があるとのこと。これからどのようにするのか聞きたい。

○市長           課題になっています。平成27年度にお店がない地域（大橋・池野辺）に生協の移動販売車を走らせました。週1，2回で10箇所回っています。採算割れしていますので，その分市が50万円から60万円を支出しています。

友部地区でも，松山団地とか昔できた団地の住民が高齢となってきたので，試験的に走らせていく予定です。もう一つは民間の宅配の制度があると思います。

市としては，バスが走っていないので，デマンドと思っています。昨年土曜日に試験的に走らせました。利用者は平日と変わりませんでしたので続けていきます。高齢者からはタクシーと違うことが理解されていないのかと思います。乗り継ぎがうまくいかないのを改善するのは簡単で，台数を増やせばいいのです。

しかし，財政的な問題があります。運行に8,000万円掛かります。収益は2,500万円です。その差の5,500万円は皆さんの税金からです。

○青年部           スクールバスを昼間運行してはどうか。

○市長           自治体の中には，デマンド，スクールバス，コミュニティーバスを走らせているところもあります。これはお金がかかります。スクールバスをコミュニティーバスに昼間切り替えることは出来ますが，お金がかかります。バスとしては，昼間は空い

ているのでどう使うかの問題です。

○青年部 友部地区のモノタロウの誘致の件だが、大型工場、大型店舗が来ると、このまちには経済的効果があっていると思う。

しかし、雇用の問題で地元のお店で働いている人が、時給がいいので大型店に流れてしまう。ひたちなかのコストコなどでそのような現象が起こっている。そうになると、地元の企業は雇用の確保のため時給を上げなければならなくなる。人材が確保できれば、もっといいことができると思っている。市で助成、お金だけでなく支援策があれば教えていただきたい。

○市長 企業誘致をするうえで、企業を見ていると、これだけの雇用をこの地区で集められるか聞かれます。モノタロウは、パートも含めて 300 人の雇用です。私たちはこの地区には高校が何校あるなどのデータを出しています。雇用の確保が誘致の一つの課題です。時給はいい金額を出しています。もちろん地元のお店から流れていくのも心配しています。だからといって、モノタロウがパートでも、高い時給を出すと言っているのを、下げてくださとは言えないです。メリットとデメリットがあるので悩んでいるところです。

企業誘致をするとき、補助金を出しています。それでも元が取れるということで出しています。でも、地元企業には税金、使用料等の減免措置はしていません。バブルの時に銀行だけなぜ支援したのか。影響が大きいからで、市で全部の企業を支援することはできません。商工会で提案してもらえれば対応しやすいです。青年部で提案してもらえればと思います。

○青年部 徳島が在宅ワークで移住に取り組んでいて、大成功を収めている。千葉でも事例がある。外部からそういう人を連れてくる。そして補助金で動かす。そういうのは無いのか。

○市長 徳島は IT です。その関連会社がどっと来ています。移住者を呼ぶ取り組みは空き家バンク制度で、起業させる取り組みは無いです。ただ、笠間でもものづくりをしたい方は、ちらほらいます。その方が来たいというときには何らかの対応が必要と思っています。勉強しておきます。

○青年部 3年前に東京から帰ってきた。家業の後を継いだが、その時に税金がたくさん掛かった。だから、地元で起業するとき、税金を減らすことはできないか。起業するときの優遇策があれば、笠間市出身者が帰って来やすいのではないか。

○市長 その充実は必要かもしれませんね。チラシでお配りした、「笠間と東京圏をつなぐ会」では、東京にいる笠間出身者にふるさとの意識付けを行いたいと考えています。東京に住んでいる笠間ファン倶楽部の方には移住を進めていきたいと思っています。

ふるさとに戻って来たい方には、何らかの支援が必要かもしれません。よく勉強して考えてみます。

○青年部 笠間には高校が二つある。私は友部高校出身だ。笠間高校は成功している。友高の件について、県に何か要望しているのか聞きたい。

○市長 友高のことを憂いている人は初めてです。県下高校で入試倍率最低で、2次募集をしても集まらないようです。県の学校統廃合の計画が出ていて、平成32年までは廃止は無いと思います。その後は廃止や笠高との統合の可能性はあるかもしれません。

市に高校が一つになってしまうと教育水準が低いと思われるまいかですね。要望は出しましたが、また出そうと思っています。笠高が成功したように何らかのものを県に要望し、形になればと思います。例えば、外国語に特化した高校とか、それくらい特色を出していきたいです。とにかく残すことに取り組んでいきます。

○青年部 笠間市内では、パークスガーデンプレイスや山ノ荘などが終わってしまった。同窓会を先日実施したが、市内で大勢が集まる場所がない。市内でやりたくてもできない。その時は水戸駅前で行ったが、皆そのまま笠間に立ち寄ることなく帰ってしまった。本当だったら、中学まで足を運んだりしたかった。稲光閣でもできない。市でホールを作るとかの考えは無いのか。

- 市長                    大勢が集まれるホールを造ることは市では考えていません。最近では、稲光閣や宍戸ヒルズのクラブハウスを借りている事例があります。役所だから貸してくれているのかもしれませんが。宿泊と一緒に課題です。企業誘致と同じですが、ホテルの誘致も考えています。国の制度を使う補助金制度とかを使って、誘致に結び付けたい。一生懸命頑張っていきます。
- 青年部                 ダイレクトメールを障害者施設に依頼している。賃金を払っていて、少ないけども喜んでくれる。それが、ある程度の賃金を出さなければならなくなってくる。そこではパンを作って販売している。私がお願いしたいことは、市役所には、お弁当屋が入っているの、社会貢献として優先的にそこを入れてもらえないか。
- 市長                    障害者としては、仕事をやることは生きがいになります。思い切って、水戸などの企業に社会貢献だと言って売り込んだらいいのではないですか。市役所では申請書があれば許可はできます。ぜひ申請してみてください。秘書課職員がつなぎます。
- 青年部                 愛宕山頂上にステージがある。友人 10 人ぐらいと 2003 年から 2013 年まで、音楽イベントを行っていた。300 人ぐらいの無料イベント。周辺を調べてスピーカーを並べた。夜景がきれいでいい場所だ。それを見て、土浦、つくば、日立の人たちも始めた。私たちは地元なので、周囲も知っていて、始まる前に近所に挨拶に行った。でも、その人たちは挨拶もせず、スピーカーも方向を調整せず、大音量で始めてしまった。その次に行ったときは、音量下げてくださいと市の方に言われた。そして誰もやらなくなってしまった。言いたいことは分かるが、ルールを決めて復活させたい。いい場所なのでもったいない。
- 市長                    一定の決まりは必要です。笠間芸術の森公園でもやっています。それでも苦情はあります。ルールを決めてやるのが大切です。それを知らせれば、広報も市役所でできます。復活させていただきたい。広報のお手伝いをします。

- 青年部 国道 355 号バイパスは開通し何年にもなる。岩間駅東大通り線も開通した。でも、沿線には何も無い。あの沿線に市で何か作るとかの計画は無いのか。
- 市長 小さくてもいいから、何か商業施設ができればと思います。
- 青年部 先日、仕事の関係でメーカー研修を受けてきた。そこで、エコキュートなどを購入すると補助金が出る自治体リストが配られた。残念ながら笠間市は載ってなかった。
- 市長 平成 26 年まで補助していました。止めた理由は需要が少なくなってきたからです。一定の役割は果たしたのだろうと考え止めました。国の制度も無くなったので、それに合わせました。復活は、この場では言えません。国の補助があったので、笠間市と併せると効果があったと思いますが、市が単独で行っても効果は疑問と思っています。今後の検討課題ですね。
- 青年部 南中学校区では長男は残るが、次男は出て行ってしまう。それは、南中学校区に土地がないから。何か考えはあるか。
- 市長 南中エリアは、農地、山が多く宅地がないです。人口が増えないところだと思います。解決が難しいところです。義務教育学校は学区を取り払うこともできます。特色の出し方によって、友部や岩間からも入学希望者がいると思います。それで生徒を増やしていければと思います。義務教育学校は自由度が高いです。大洗高校はマーチングをやりたくて入学する生徒がいます。南中の定住化も必要かもしれないが、義務教育学校をどう特色があるようにするかです。
- 青年部 分かりやすい予算をみると、外国人観光客の誘致で 300 万円の前算となっている。茨城県に来るのは難しいかもしれないが、もう少し力を入れてもいいと思う。
- 市長 これに載っているのは一部です。これは外国人という部分のピックアップです。笠間は観光のまちで、今後外国人を呼び込むことも必要と考えています。城があれば侍の恰好など体験型

のパッケージが必要と思っています。

でも、たくさんの外国人が来ても対応できない状況です。そこで、ギャラリーロード商店会を外国人受入のモデル地区にして進めています。日本人ももちろん呼び込む必要があります。

これから始めようとしているのは女子をターゲットとしたものです。

それと、イベント型ですが、悪態まつりなどです。通年型は宿泊施設がありません。

○青年部 外国語学校とあわせると面白いかもしれない。

○市長 良いかもしれませんが。笠間は日動美術館や陶芸美術館があるので、文化の香りがすると言われていています。取手しかなかった美術の高校を、県はもう一校ほしかったので笠間に作りました。友高も笠間らしさを生かして、観光科とか地域に特化するものにした方がいいかもしれません。

○青年部 笠間は観光客にやさしくないイメージがある。ゴールデンウィークに稲荷神社までの道順を良く聞かれた。分かりやすい看板があって、距離が書いてあれば、観光客はアクセスの手段をタクシーや徒歩など選択できる。そういったものがないので選択できない。5月3日、4日で10人ぐらいに聞かれた。

○市長 明確にしてあれば選択できるかもしれません。